

ネットワーク 報 PTA

(16は県下郡市等P連の数)



由布市 会員数 2,317人 PTA数 16校

心身ともに豊かでたくましい

「ゆふっ子」を育てる

由布市PTA連合会

由布市PTA連合会は、中学校3、小学校13の計16校、会員2317人で構成されています。この8年間で小学校は3校、会員数では約3000人の減少となっています。学校の減少とともに、由布市PTA連合会組織体制を検討する時期となっています。

共有・研鑽のために

由布市PTA連合会では、変化する社会情勢の中で、学校・家庭・地域がひとつとなり、子どもたちが、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身につけ健やかに幸せに生活できることを願っています。そのために会員の自己研鑽、情報共有のために、



研修を行い理解を深める

また教育環境の整備に関する企画を行っています。

由布市PTA連合会
会長 佐藤 圭次

平成27年度 県P連 幹部研修会

PTA活動の使命は 子どもたちの健全育成

6月19日(金)、大分市コンパルホールで、県P連幹部研修会が開催された。県内16郡市の県P連理事ら70名が出席。理事会後、各専門部会、合同研修会が行われ、本年度の活動内容などの意志統一が図られた。



講演する坪居氏

理事会

本会は、PTA活動のより一層の充実と発展を目指し、年に1回開催される。各郡市の幹部が一堂に会し、研修を行い、リーダーとしての意識を高め、連帯感を持って活動していくことを目的としている。理事会では、日P・九Pをはじめ、定期総会などの県P連各種行事についての報告や、活動計画が示された。また、この後行われる専門部会の懸

専門部会

各専門部の主な協議内容。

- ・ 補償制度の充実促進・パンフレット検討・保険会社による説明会の実施
- ・ 三行詩募集・審査
- ・ 平成27年度指定研参加・審査
- ・ 「保護者心得六箇条」の検討・普及・推進

「学校教育部会」

- ・ 全単位PTA会長研修会にむけて(新会長心得作成検討)
- ・ 教育問題懇談会について

「母親部会」

- ・ 平成27年度活動年間計画・PTA活動の情報交換
- ・ 各専門部会では、さらに充実した県P活動になるよう話

案事項について協議を行い、共通理解を深めた。

高校との交流

市P連会員研修会(全研究会、中学校1校・小学校2校より研究発表)

由布市内唯一の高等学校として、大分県立由布高等学校があります。県教委の高校再編計画(検討素案)段階では、廃校の方向性が示されています。しかし、市を挙げた取り組みにより、連携型中高一貫教育校として存続の決まった時から、由布高校振興協議会に参画し毎年開催される、由布高校振興大会の運営に携わってきました。高校の説明・報告に加えて、パネルディスカッション、グループ討議形式を取り入れ、PTAとの関わりを持つ会にするなど、試行錯誤を重ねながら取組を行っています。

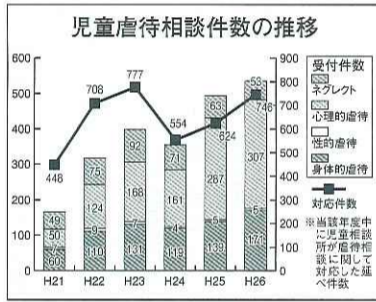
合同研修会

午後からの合同研修会では、大分県中央児童相談所総務企画課主査(里親担当)の坪居潤氏による講演会が行われた。

坪居 潤氏
大分市竹中出身。平成21年より児童福祉司として主に虐待対応等を担当。平成26年より里親担当。

講演要旨
「大分県の子どもの現状、虐待、社会的養護等」

非行や障がいなど子どもに関する相談を受ける児童相談所だが最近では虐待対応が多い。通報があると子どもの状況を確かめ、必要な場合は保護する。県内には、家庭で暮らすことができない児童が約500名いる。児童養護施設、ファミリーホームなど、子どもにとって最善の利益が確保できる場所を選択する。



名いる。児童養護施設、ファミリーホームなど、子どもにとって最善の利益が確保できる場所を選択する。里親制度は、その選択肢の一つ。自分の家庭に迎え入れ、愛情込めて養育する。里親さんからも「家族仲が良くなり、会話がなくなった」などの声がかかる。子どもの健全な成長のために必要な、子どものための制度である里親を、増やしていきたいと思っている。

里親になりませんか?

子どもたちがあたたかな家庭で暮らしていけるよう大分県では里親になってくださる方を募集しています。詳しくは、下記までお問い合わせください。

- いろいろな里親さんを求めています
- 短期間(数日から数週間程度)養育する里親
 - 子どもが学校を転校しなくてもいいように同じ校区の子どもの養育する里親
 - 乳幼児から長期で養育する里親
 - 乳幼児や小学生を短期で預かる里親
 - 中高生を養育する里親
 - 養子縁組を希望する里親

県内のたくさんのご家庭が里親家庭として登録していただくことで、子どもたちの生活の場所の選択肢が広がります。

大分県中央児童相談所(里親担当)
〒870-0889 大分市荏隈5丁目
TEL 097-544-2016

学校復帰へ向けての《こころと学習の塾》

『こころ応援塾』7月開校

不登校に悩む子ども達の「強い心の育成+想像力育成+学力向上」を応援!

【メンタル担当】
「ダッシュ君」でお馴染みのつだつよし氏をはじめ、心理カウンセラー陣がオリジナルメンタルプログラムにて子どもたちの「自信や夢」を引き出す。

【学習指導担当】
学習塾講師が担当し、学校復帰・受験対策に向けての学力向上を目指す。

【お問合せ】こころ応援塾事務局
070-5690-5863(平日10時~17時)

大分県PTA連合会補償制度
PTA有英補償制度・PTA自転車安全補償制度

(保険にかかるお問い合わせ)

0120-56-8993
(受付時間: 月~金 9:00~17:00)

9月25日まで特別加入を随時受け付けています

(取扱代理店)
はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館2F

(事故にあわれた時のご連絡先)
24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189

県P情報
県P全単位PTA 会長研修会
8月1日(日)より加わりました。
はぐく美編集委員が6月より加わりました。
永田 美穂(新)

編集後記
「やるなら楽しく!」が私のモットー。仲間にも恵まれ充実の3年間だった。感謝。少しずつ形になっていく紙面。心が躍る。新たな挑戦は心が育つ。楽しみが増えた。

反抗期 どう扱いたらいいの? ③7

みんなが がんがえる コーナー

16歳の少年が、ベットボトルをマンションの高層階から投下した事件が報じられた。水が詰まったボトルは落下中に驚異的な破壊力に変身していき、映し出された実験映像から、改めてその威力が伝わってきた。

被害者の傷跡も報道されていたが、大事に到らなかったようだ。しかし、一歩間違えばと思うと、身の毛立つ。

反抗は、周囲の人たちの意見を聞かない生意気な態度を繰り返すことだが、規律や規範の社会的ルールを越えない「正常な反抗」については、言って聞かせればそれを受け入れることができる。

一方、この少年の事例のような非社会的・反社会的行動と受けとめられる反抗は「異常な反抗」と呼ばれる。

みなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一

常な反抗とされている。思春期の危機は「大人になるか、なれないか」という識者の言葉がある。

この危機を乗り越えていくためには、思春期までの「発達」の達成と、「こんな大人が必要」というビジョンの共有を基準に据えた営みが重要とされている。

ボトルの蓋を回し、螺旋の階段を上りつめた先に予想される絶望的な展開を避ける心のブレーキは、錆びて利かなかったのだろうか。

ボトルの水に含まれていたかもしれない心の錆が、飛び散った水と共に消えてしまったなら、思うばかりである。